

神栖市における有機ヒ素汚染源 調査等についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖市 環境課、(株)鴻池組

総合調査検討会の結果について

4月23日(月)午後平成19年度第1回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会を開催しました。神栖関連の主な内容は次の通りです。

(1)地下水モニタリングの状況について

2007年冬季の地下水モニタリングの結果について報告しました。主な内容は以下のとおりです。

- ・ 2006年10月の多雨の影響により、全体的に地下水位が上昇したが、その後徐々に減少傾向である。
- ・ 掘削調査地点付近や A 井戸近傍地域では、ジフェニルアルシン酸の濃度が秋季よりも全体的に減少した。
- ・ B地区については、汚染範囲はこれまでと大きな違いはなく、汚染は深度30mを主体としている。

(2)汚染解明調査の状況について

B地区周辺地域を対象として実施した「B地区詳細地下水汚染シミュレーション」の状況について報告しました。主な内容は以下のとおりです。

- ・ B地区における浅層部の地下水汚染は、過去に水利用がなされたこと等が影響しており、B地区付近の表層部に別の高濃度の汚染源がなくとも、A井戸付近から移流してきた汚染プルームがB地区の汚染源になりうる事が再現された。

検討会の資料は環境省ホームページに掲載されています。

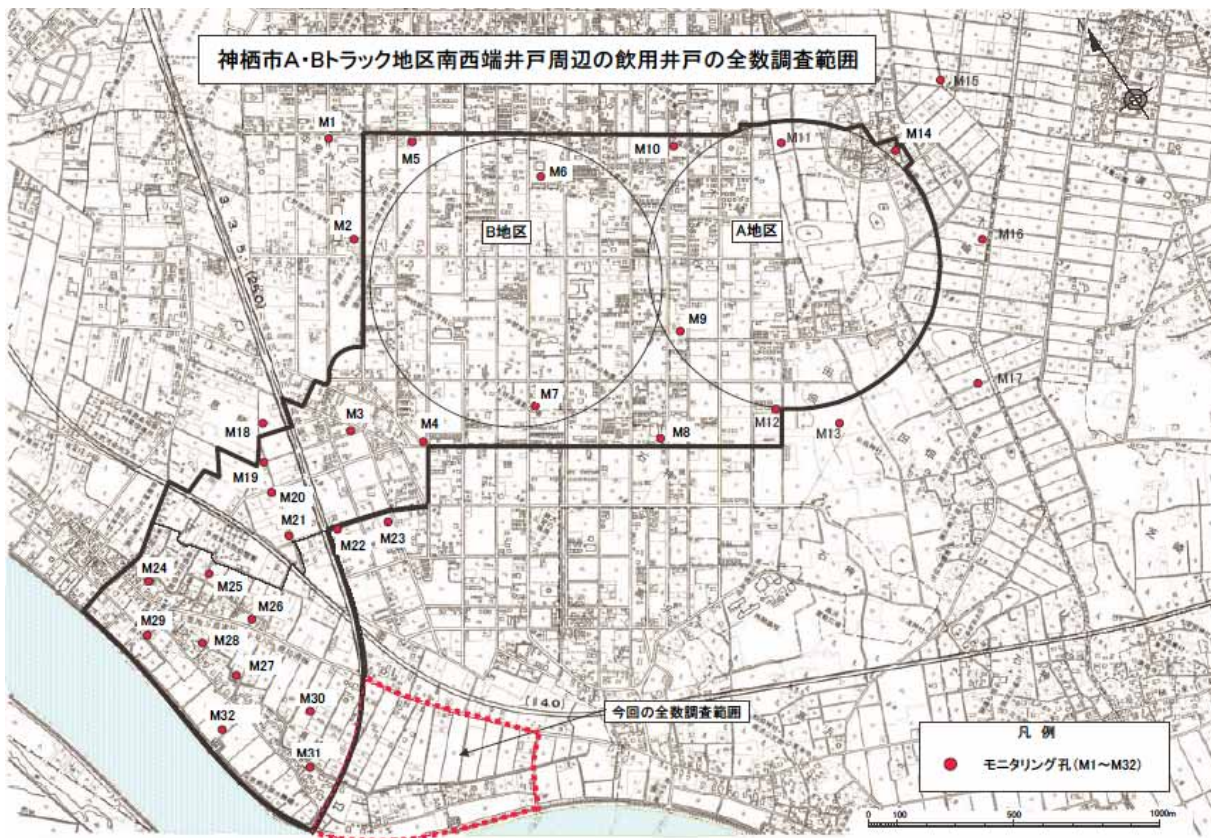
(http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html)

A・Bトラック南西地域の飲用井戸の調査結果について

A・Bトラック南西地域周辺の飲用井戸の調査結果を5月14日(月)に公表しました。

A・Bトラック地区の南西地域の新たに設置した3ヵ所のモニタリング孔のうち、2孔(M - 30及びM - 31)よりジフェニルアルシン酸(DPAA)が検出されたため、そのモニタリング孔から概ね200～800メートル圏内の全ての飲用井戸47件の調査を実施したところ、全ての飲用井戸についてジフェニルアルシン酸(DPAA)は不検出でした。

当面の対応としては、既に井戸水の飲用等の自粛のお願いをしておりますが、引き続き、この地域を含めてA・Bトラック周辺地域においては、井戸水の飲用自粛をお願いいたします。また、この範囲の周辺地域において新たなモニタリング孔を設置するなどの対応を図っています。



掘削現場における当面のスケジュールについて

掘削テント内に保管していたコンクリート様の塊を充填した密閉容器、廃フレコンバック等について、4月30日に鹿島臨海工業地内の新設保管テントへの運搬が完了いたしました。

掘削テント内から全ての対象物の移動が完了したことに伴い、今後、掘削テントの撤去に向けての作業を本格的に進めて参ります。当面の作業としては、仮締め切り内部(掘削エリア)の埋め戻しを行い、その後、テントの解体・撤去、テント基礎の解体と進めることとしており、テントの解体・撤去は7月中旬頃に、テント基礎の解体は8月末頃に、終了する予定です。

掘削現場における当面のスケジュール(予定)は次表のとおりです。

埋め戻し作業では、大型のダンプトラックの出入り等が一時期集中的に行われます。出入りの時間帯等には、交通状況の調整・管理を万全の体制で実施しますので、宜しくお願いいたします。

掘削現場における当面のスケジュール(予定)

		5月			6月		
		1	10	20	1	10	20
掘削 テント ヤード	掘削テント解体・撤去に向けた計画、準備	■					
	仮締め切り内部の埋め戻し			■			
	テント内清掃工				■		
	テント解体・撤去						■

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい。

鴻池組現場事務所	0299-92-0862	
環境省環境リスク評価室	03-5521-8262	(http://www.env.go.jp)
茨城県環境対策課	029-301-2966	(http://www.pref.ibaraki.jp)
神栖市環境課	0299-90-1146	(http://www.city.kamisuibaraki.jp)